



# 軽防協ニュース速報

## 2021年第1四半期(1月-3月)の伝染病発生状況

2021年6月配信

(International Collating Centreからの情報)

この記事は、2021年第1四半期(1月-3月)の各国の伝染病発生状況の要約したものである。また、ICC暫定(リアルタイム)のレポートでは報告されていなかった疾病発生状況の追加情報が寄せられていることにも留意されたい。この追加情報は、本レポートの表と本文の該当する箇所に\*印を付して示されている。ICC暫定(リアルタイム)のレポートは<http://jdata.co.za/iccviewer/>のページ内にある。

このレポートに示されているデータには、各国の研究所での検査サンプルや、報告方法に多少のバイアスがあるかもしれないため注意して解釈していただきたい。そのため、これらのデータが必ずしも世界各地における馬の集団内での伝染病発生率を的確に反映しているわけではないことをご了承願いたい。例えば、ある伝染病について発生報告がないからといって、必ずしもその伝染病がその国の中で存在していないということではない。以下の各表は国によって報告された病気の発生件数をまとめたものである。1件の発生で複数症例を含むものがある。

### 繁殖疾患

発生国	CEM	EHV-1	EHV-1 および 4	EHV-3	EHV-4	レプトスピラ 症	ノカルジア 症	サルモネラ	s.zoo
ベルギー	-	6 <sup>#</sup>	1	-	5 <sup>#</sup>	-	-	-	3
カナダ	-	2	-	-	-	-	-	-	-
フランス	-	3	-	2	2	-	-	-	-
ドイツ	2	11	-	-	-	-	-	-	-
アイルランド	-	7	-	-	-	-	-	-	-
日本	-	#	-	-	-	-	-	#	-
オランダ	-	3	-	-	-	-	-	-	-
スウェーデン	-	6 <sup>#</sup>	-	-	-	-	-	-	-
イギリス	-	8 <sup>#</sup>	-	-	-	-	-	-	-
アメリカ	-	1	-*	-	-	*	*	-	-

\*ICC暫定レポートを通じては報告されなかったが、四半期末に報告があった追加情報

#四半期末後に報告があったもの

## **馬伝染性子宮炎（CEM）**

### **ドイツ**

ラインラント＝リファルツ州およびバイエルン州の異なる施設において計 2 件の単独発症が報告された。生殖器からのスワブにて陽性が確認された。

## **馬ヘルペスウイルス 1 型（EHV-1）による流産**

### **ベルギー**

6 件の発生があり、いずれも単独発症であった。うち 4 頭についてはワクチン未接種であった。陽性判定は肺および肝臓の組織を用いた PCR 検査にて行われた。<sup>#3</sup> 件の追加発生があり、同じく肺および肝臓の組織の PCR 検査にて陽性が確認された。

### **カナダ**

オンタリオ州の異なる施設におけるサラブレッドで 2 件の発生が報告され、いずれも単独発症であった。1 例は妊娠 10 か月で流産し、もう 1 例では死産であった。

### **フランス**

1 頭のフレンチトロッターおよび 1 頭のハノーバーを含む計 3 件の発生が報告された。2 件について、胎仔組織を用いた PCR 検査にて陽性を確認した。

### **ドイツ**

11 件の発生を認め、うち 2 件で 2 例ずつ、他 9 件は単独の発症であった。1 例については死産であった。多くは生殖器スワブおよび胎仔組織の PCR 検査にて陽性を確認した。

### **アイルランド**

7 件の単独発症が報告され、全てサラブレッドであった。肉眼的病理検査、組織病理検査および PCR 検査にて陽性を確認した。

### **日本**

<sup>#8</sup> か所で 10 件のサラブレッドの流産が報告された。うち 7 頭についてはワクチン接種済みであった。PCR 検査にて陽性が確認された。

### **オランダ**

3 件の発生が報告され、1 件については 3 例の発症、他は単独発症であった。膣および鼻咽頭スワブ、肺吸引物の PCR 検査にて陽性を確認した。

## スウェーデン

6 件の発生が報告され、いずれも単独発症であった。胎仔臓器（脾臓、肝臓および肺）および胎盤からのプール検体にて陽性が確認された。<sup>#</sup>ウプサラ県およびユー市にて、さらに 2 件の単独発症を認めた。

## イギリス

デンビーシャー州、ミッドロージアン州、ノーフォーク州、ノーサンバーランド州、サフォーク州、ウエストサセックス州およびヨークシャー州にて、8 件の発生が報告され、いずれも単独発症であった。検視時の肉眼所見、および胎仔組織の PCR 検査、組織病理検査において、陽性が確認された。<sup>#</sup>ワクチン接種済みの 12 歳のウォームブラッド繁殖牝馬において、さらに 1 例の流産が報告された。

## アメリカ

オクラホマ州の 8 歳のワクチン接種済みクォーターホース繁殖牝馬において、1 例の流産が報告された。

## 馬ヘルペスウイルス 1 型および 4 型 (EHV-1&-4) による流産

### ベルギー

エノー州のワクチン接種済みの繁殖牝馬 1 頭において、流産が報告された。流産は妊娠 9 か月の胎仔に見られた。肺および肝臓の組織を用いた PCR 検査にて陽性が確認された。

### アメリカ

\*ケンタッキー州において、9 例の流産が報告された。

## 馬ヘルペスウイルス 3 型 (EHV-3) による瘡疹

### フランス

ロワールアトランティック県およびイルエビレーヌ県のサラブレッドにおける 2 件の単独発症が報告された。

## 馬ヘルペスウイルス 4 型 (EHV-4) による流産

### ベルギー

5 件の単独発症が報告され、うち 1 例は *S.zooepidemicus* との混合感染を認めた。肺および肝臓の組織を用いた PCR 検査によって陽性が確認された。<sup>#</sup>東フランダース州において、1 頭のワクチン接種済みの馬が流産したとの追加報告があった。同じく肺および肝臓の組織を用いた PCR 検査にて陽性が確認された。

## フランス

フィニステール県およびロワール県で2件の単独発症が報告された。咽喉頭スワブ、血液、および胎仔成分のPCR検査によって陽性を確認した。

## レプトスピラ症

### アメリカ

\*ケンタッキー州にて、4例の流産が報告された。

## ノカルジア症

### アメリカ

\*ケンタッキー州で粘液性ノカルジア性胎盤炎やノカルジア性流産が計8件認められた。

## *S.abortus equi*

### 日本

#非サラブレッド種において1例の流産が報告された。細菌分離、血清型別および病理検査により陽性を確認した。

## *S.zooepidemicus* による流産

### ベルギー

3件の単独発症が報告された。うち2例の繁殖牝馬においては妊娠9か月での流産であった。肺および肝臓の組織を用いたPCR検査にて陽性を確認した。

## 呼吸器疾患

発生国	EHV-1	EHV-1,4	EHV-1,EI	EHV-2	EHV-4	EHV-2/-5	EHV-5	EI	腺疫
ベルギー	8 <sup>#</sup>	1	-	1	6 <sup>#</sup>	-	1	-	1
カナダ	-	-	-	-	-	-	-	-	2
フランス	20	-	-	-	53	-	-	8	13
ドイツ	12	-	-	1	-	-	-	5	-
イタリア	#	-	-	-	-	-	-	-	-
オランダ	-	-	-	-	2	-	-	3	19
カタール	1	-	-	-	-	-	-	-	-
スペイン	2	-	-	-	-	-	-	-	-
スウェーデン	12	-	-	-	-	-	-	-	-
スイス	1	-	-	-	1	-	-	-	5
イギリス	5 <sup>#</sup>	-	-	-	-	-	-	5	-
アメリカ	3	-	1	-	2	*	-	4 <sup>*</sup>	27

\*ICC 暫定レポートを通じては報告されなかったが、四半期末に報告があった追加情報  
#四半期末後に報告があったもの

## 馬ヘルペスウイルス1型 (EHV-1) による呼吸器感染症

### ベルギー

8件の発生が報告され、うち1件は2例、他7件は単独発症であった。6件については、直近にスペインの競技大会から帰国した馬であった。鼻腔スワブおよび血液のPCR検査にて陽性が確認された。#東フランダース州において、1頭のワクチン接種済みの馬に感染が認められたことが追加報告された。鼻腔スワブのPCR検査にて陽性が確認された。

### フランス

20件の発生が報告され、うち1件は6例、2件は5例、2件は4例、1件は3例、3件は2例、他11件は単独の発症であった。単独発症を認めた3件については、EHV-4との混合感染を認めた。5件については、直近でスペインの競技大会から帰国した馬であった。

### ドイツ

12件の発生が報告され、1件は4例、1件は3例、他10件は単独の発症であった。1件については、直近でスペインの競技大会から帰国した馬であった。鼻腔スワブのPCR検査にて陽性が確認された。

### イタリア

#エミリアロマーニャ州のヴァルサモッジャにおける1例の感染が報告された。

### カタール

1例の感染が報告された。2頭がバレンシアの障害飛越競技に遠征し、1頭が咽喉頭スワブのPCR検査にて陽性が確認された。もう1頭の検査結果についてはまだ出ていない。

### スペイン

スペインで行われた、FEI関連の複数の障害飛越競技に参加していた馬に呼吸器症状を認めたことが、FEIによって2回にわたり報告された。この競技大会に関連する呼吸器感染症が他国でも報告されている。

### スウェーデン

12件の発生が報告された。1件では2例、他9件では単独の発症を認め、うち2例については *S.zooepidemicus* との混合感染であった。スペインの競技大会から帰国した無

症状馬に対して検査を行ったところ、さらに2件の発生を認め、1件は6例、もう1件では2例が感染していた。発熱、発咳、鼻汁などの臨床症状を認め、鼻腔スワブのPCR検査にて陽性を確認した。

## スイス

ボー州における1例の感染が報告され、直近でスペインの競技大会から帰国した馬だった。

## イギリス

5件の発生が報告され、それぞれ非サラブレッド種のワクチン未接種馬1頭ずつの感染を認めた。鼻咽頭スワブのPCR検査にて陽性が確認された。

## アメリカ

マサチューセッツ州、ペンシルヴァニア州、テネシー州において3件の発生が報告され、1件は7例、2件は各1例の感染を認めた。発熱などの臨床症状を認めた。

## 馬ヘルペスウイルス1型・4型 (EHV-1,4) による呼吸器感染症

### ベルギー

1例の発生が報告され、次いでEHV-5との混合感染も認めた。発熱などの臨床症状を認め、鼻腔スワブのPCR検査にて陽性が確認された。

## 馬ヘルペスウイルス1型 (EHV-1) および EI による混合感染

### アメリカ

ワシントン州において、1例の混合感染が報告された。

## 馬ヘルペスウイルス2型 (EHV-2) による呼吸器感染症

### ベルギー

フラームス・ブラバント州にて、1例の感染が報告された。発熱、鼻汁、発咳などの臨床症状を認め、鼻腔スワブのPCR検査にて陽性が確認された。

## ドイツ

メクレンブルク・フォアポンメルン州において、1例の感染が報告された。発熱などの臨床症状を認め、咽喉頭スワブのPCR検査にて、陽性が確認された。

## 馬ヘルペスウイルス2型および5型 (EHV-2/-5) による感染

### アメリカ

\*多くの州でEHV-2および/またはEHV-5の感染が確認され、いくつかは呼吸器症の臨床兆候と関連していたことが報告された。

## 馬ヘルペスウイルス 4 型 (EHV-4) による呼吸器感染症

### ベルギー

6 件の発生が報告され、1 件については複数例、他 5 件は単独での発症が報告された。1 件は EHV-2 および EHV-5 との混合感染であり、3 件は EHV-2 との混合感染であった。発熱、リンパ節腫大、鼻汁および発咳などの臨床症状を認めた。#EHV-2 および EHV-5 との混合感染が追加で 1 例報告され、臨床症状は発熱などであった。

### フランス

53 件の発生が報告され、1 件で 25 例、1 件で 6 例、1 件で 4 例、4 件で 3 例、10 件で 2 例、他 36 件は単独での発症であった。リンパ節腫大、発咳、鼻汁、発咳と発熱などの臨床症状を認め、咽喉頭スワブの PCR 検査にて陽性を確認した。

### オランダ

2 件の発生があり、いずれも単独発症であった。リンパ節腫大、鼻汁、発熱などの臨床症状を認め、咽喉頭スワブの PCR 検査にて陽性が確認された。

### スイス

チューリッヒ州における 1 例の感染が報告され、発熱などの臨床症状を認めた。鼻腔スワブの PCR 検査にて陽性が確認された。

### アメリカ

フロリダ州およびテネシー州で 2 件の発生が報告され、いずれも単独発症であった。発熱、軽度の食欲不振および両側性の粘液膿性鼻汁などの臨床症状を認めた。うち 1 頭についてはワクチン接種済みであった。

## 馬ヘルペスウイルス 5 型 (EHV-5) による呼吸器感染症

### ベルギー

リンブルフ州における 1 件の発生が報告された。発咳、リンパ節腫大、発熱などの臨床症状を認め、鼻腔スワブの PCR 検査にて陽性を確認した。

## 馬インフルエンザ (EI)

### フランス

8 件の発生が報告され、1 件で 5 例、2 件で 2 例、他 5 件は単独の発症であった。発咳、鼻汁、発熱などの臨床症状を認め、鼻咽頭スワブの PCR 検査にて陽性が確認された。

### ドイツ

シュレースウィヒ・ホルシュタイン州における 5 件の発生が報告され、1 件で 7 例、2 件で 2 例、他 3 件は単独の発症であった。発咳、鼻汁、発熱などの臨床症状を認めた。

## オランダ

3件の単独発症が報告され、発咳、下顎リンパ節腫大、鼻汁、発熱などの臨床症状を認めた。咽喉頭スワブのPCR検査にて陽性が確認された。

## イギリス

5件の発生が確認され、1件は2例、他4件は単独の発症であった。発咳、食欲不振、沈鬱、リンパ節腫大、発熱などの臨床症状を認め、鼻咽頭スワブのPCR検査にて陽性が確認された。<sup>#</sup>直近でスペインからスタフォードシャー州へ輸入された種牡馬において、さらに1例発症したことが追加報告された。

## アメリカ

オレゴン州、ヴァージニア州、ワシントン州で4件の発生が確認され、1件で2例、2件で単独の発症を認めた。発咳、軽度の鼻汁および発熱などの臨床症状を認めた。ワシントン州で報告されたEHV-1との混合感染を認めた1例については、前述の項目でも言及されている。<sup>\*</sup>馬インフルエンザはアメリカで流行している。少なくとも13の州で発生が認められ、いくつかの州では複数件の発生があったことが追加報告された。

## 腺疫

### ベルギー

リンブルフ州において、ワクチン未接種の1頭の馬に感染を認めたが、臨床症状は認めなかった。感染馬は直近でスペインから輸入されていた。

## カナダ

プリンス・エドワード島およびオンタリオ州のスタンダードブレッド種において、2件の単独発症があった。

## フランス

13件の発生が報告され、1件は3例、他12件は各1例の感染を認めた。発咳、鼻汁、発熱、リンパ節腫大などの臨床症状を認め、11件については鼻咽頭スワブ、2件については候囊洗浄液を用いたPCR検査にて陽性を確認した。

## オランダ

19件の単独発症が報告された。発熱、鼻汁、下顎リンパ節の腫大、発咳および膿瘍形成などの臨床症状を認め、鼻咽頭スワブのPCR検査にて陽性が確認された。

## スイス

5件の発生で1件は3例、2件では1例以上の発症を認めた。5件中4件はアールガウ州、1件はチューリッヒ州での発生であった。発熱、呼吸器症状、下顎リンパ節の腫大な

どの臨床症状を認め、膿汁、鼻腔スワブ、または鼻咽頭スワブを用いた PCR 検査にて陽性を確認した。

## アメリカ

ミシガン州、フロリダ州、ワシントン州、マサチューセッツ州、ペンシルヴァニア州、カリフォルニア州において、計 27 件の発生が報告され、26 件については単独発症、1 件については 2 例の発症があった。発熱、鼻汁、リンパ節の腫大、沈鬱などの臨床症状を認めた。\*腺疫はアメリカで流行しており、少なくとも 9 つの州で報告がある。5 つの州においては複数例の発症を認めていることが追加報告された。

## 消化器疾患

発生国	クロストリジウム	コロナウイルス	ロタウイルス	ローソニア	サルモネラ症
フランス	-	-	2	-	-
スイス	-	4	-	-	-
アメリカ	*	-	*	*	*

\*ICC 暫定レポートを通じては報告されなかったが、四半期末に報告があった追加情報

# 四半期末後に報告があったもの

## クロストリジウム腸炎

### アメリカ

\*ケンタッキー州において、*C.perfringens* A 型のβ2 毒による感染が 8 例、*C.perfringens* 非定型毒による感染が 99 例、PCR 検査にて診断された。加えて、ケンタッキー州の多くで *C.difficile* 感染症が 63 例、PCR 検査にて診断されたことが報告された。

## 馬コロナウイルス (ECoV)

### スイス

4 件の発生が報告され、3 件は単独発症、他 1 件では 1 例以上の発症があった。下痢、発熱、軽度の疝痛などの臨床症状を認め、糞便検体の PCR 検査にて陽性を確認した。

## ロタウイルス

### フランス

カルヴァドス県の異なる施設で 2 件の発生が報告され、いずれも単独発症であった。直腸スワブや糞便検体の PCR 検査にて陽性が確認された。

## アメリカ

\*ケンタッキー州において、新生仔馬の下痢症の発生が数多く報告され、うち数件はこれまでに仔馬で記録されていなかった新型のロタウイルスによる感染だったことが報告された。

## ローソニア腸症

### アメリカ

\*ケンタッキー州にて *L.intracellularis* による感染が 2 例報告された。

## サルモネラ症

### アメリカ

\*ケンタッキー州において、B 群による感染が 2 例報告された。

## 神経疾患

発生国	EEE	EEV	EHV-1	EHV-4	狂犬病	WNV
ベルギー	-	-	8	-	-	-
カナダ	-	-	7	-	-	-
フランス	-	-	5	1	-	-
ドイツ	-	-	2	1	-	1
イタリア	-	-	1 <sup>#</sup>	-	-	-
オランダ	-	-	2	-	-	-
スペイン	-	-	2	-	-	-
南アフリカ	-	#	-	-	-	#
スイス	-	-	1	-	-	-
アメリカ	1	-	14 <sup>*</sup>	-	1	-

\*ICC 暫定レポートを通じては報告されなかったが、四半期末に報告があった追加情報

<sup>#</sup> 四半期末後に報告があったもの

## 東部馬脳炎 (EEE)

### アメリカ

フロリダ州のワクチン未接種のクォーターホース 1 頭に発生した。起立不能、運動失調、後躯脱力などの症状を認め、感染馬は安楽死となった。

## 馬脳症ウイルス

### 南アフリカ

<sup>#</sup>9 つの州のうち、以下の 8 つの州において、EEV の流行があったとされた。東ケープ州 (1 例)、ハウテン州(70 例)、クワズール・ナタール州(12 例)、ムプマランガ州(9 例)、北

ケープ州(3例)、ノースウエスト・プロヴィンス州(1例)、西ケープ州(3例)およびリンポポ州(1例)。

## **馬ヘルペスウイルス 1 型 (EHV-1) による神経疾患**

### **ベルギー**

8 件の発生が報告され、5 件で各 1 例、1 件で 4 例、1 件で 8 例、1 件で 24 例の発症があった。急性褥瘡、運動失調、膀胱麻痺、発咳、陰莖脱、発熱などの臨床症状を認め、血液や鼻腔スワブの PCR 検査にて陽性が確認された。うち 4 件はスペインのバレンシアで行われた大会に関連するものであった。

### **カナダ**

7 件の発生が報告され、6 件は単独発症、1 件は 2 例の発症を認めた。運動失調、排泄困難、起立不能、後躯の協調不全、発熱、横臥などの症状を認め、6 件はオンタリオ州、1 件はケベック州での発生であった。

### **フランス**

5 件の発生が報告され、3 件は単独発症、1 件は 4 例、1 件は 5 例の発症があった。運動失調、沈鬱、麻痺、発熱などの臨床症状を認め、鼻咽頭スワブの PCR 検査にて陽性が確認された。うち 2 件については、スペインのバレンシアで行われた大会と関連するものであった。

### **ドイツ**

ノルト・ライン・ウェストファーレン州の異なる施設において計 2 件、16 歳および 21 歳の繁殖牝馬に感染が認められ、運動失調などの臨床症状を認めた。鼻咽頭スワブの PCR 検査にて陽性が確認された。

### **イタリア**

イタリア北部の異なる施設において、計 4 例発症したことが FEEVA のイタリア代表から報告された。運動失調などの臨床症状を認め、うち 2 件についてはスペインのバレンシアで行われた競技大会から帰国した馬であった。<sup>#</sup>ロンバルディア州のモツァーテにおいて、さらに 1 例の発症があったことが報告された。

### **オランダ**

ヘルデルラント州におけるワクチン未接種馬において 2 件の発生が報告され、1 件は単独発症、もう 1 件は 2 例の発症があった。膀胱弛緩、後躯麻痺、尾の虚脱、発熱、横臥などの臨床症状を認め、鼻咽頭スワブおよび EDTA 血の PCR 検査にて陽性を確認した。

## スペイン

スペインで行われた複数の FEI 関連の障害飛越競技に参加していた馬に流行があったことが、FEI によって 2 回にわたり報告された。今回の報告にあった他国の流行についても、これらの大会に関連するものであった。

## スイス

ツーク州で 1 例の発症が報告され、発熱などの臨床症状を認めた。鼻腔スワブの PCR 検査にて陽性が確認された。この発症馬は、直近でスペインのバレンシアで行われた大会から帰国した馬であった。

## アメリカ

14 件の発生が報告され、11 件は単独発症、2 件は 2 例、1 件は 4 例の発症を認めた。後躯・前駆の運動失調、横臥、発熱、尿失禁、糞尿の滞留などの臨床症状を認め、発症馬のうち 3 頭は安楽死となった。<sup>#</sup>テキサス州パーカー郡のクォーターホースにおいて、1 例の発症があったことが追加報告された。

## 馬ヘルペスウイルス 4 型 (EHV-4) による神経疾患

### フランス

セーヌマリタイム県における 1 例の発症が報告された。鼻咽頭スワブの PCR 検査にて陽性が確認された。

### ドイツ

シュレースウィヒ・ホルシュタイン州における 6 歳の繁殖牝馬 1 頭に発症を認め、鼻咽頭スワブの PCR 検査で陽性が確認された。

## 狂犬病

### アメリカ

カリフォルニア州の 7 歳のワクチン未接種のラバ 1 頭において発症したことが報告された。運動失調、脳神経障害、起立不能、発熱などの臨床症状を認め、安楽死となった。

## ウエストナイルウイルス感染症 (WNV)

### ドイツ

1 例の発症が報告された。

## 南アフリカ

<sup>#</sup>フリーステイト州およびクワズールー・ナタール州で 2 例の発症が報告された。

## その他の疾患

発生国	AHS	EIA	レプトスピラ	ハト熱	ピロプラズマ	ティザー病
カナダ	-	2	-	-	-	-
フランス	-	-	1	-	-	-
ルーマニア	-	2	-	-	-	-
南アフリカ	#	-	-	-	#	-
アメリカ	-	5	-	1	-	*

\*ICC 暫定レポートを通じては報告されなかったが、四半期末に報告があった追加情報

# 四半期末後に報告があったもの

### アフリカ馬疫 (AHS)

#### 南アフリカ

\* 西ケープ州の AHS 管理地域を除いて、南アフリカで流行している。散発的に発生しており、9 つの州のうち 6 つの州（ハウテン州、フリーステイト州、クワズールー・ナタール州、リンポポ州、ムプマランガ州、ノースウェスト・プロヴィンス州）で計 38 例が発症した。西ケープ州では、州内の汚染地域および AHS 管理地域の双方において、発症は認められなかった。

### 馬伝染性貧血 (EIA)

#### カナダ

アルバータ州およびサスカチュワン州における 2 件の発症が報告され、1 件は単独発症、もう 1 件は 7 例の発症を認めた。アルバータ州で認めた 7 例については、動物の救命機関での発症であった。

#### ルーマニア

2 件の発症があり、いずれも単独発症であった。

#### アメリカ

カリフォルニア州、オレゴン州、テキサス州、ウタ州において、計 5 件発生した。

### レプトスピラ症

#### フランス

ウールエロアール県のフレンチサドル種牡馬 1 頭に発症した。血液の PCR 検査にて陽性が確認された。

### ハト熱 (*Corynebacterium pseudotuberculosis* 感染症)

#### アメリカ

ワシントン州キング郡における 1 例の発症が報告された。

## **ピロプラズマ症**

### **南アフリカ**

\*ピロプラズマ症は風土病として知られており、9つの州のうち以下の8つの州で流行が報告されている。東ケープ州(1例)、ハウテン州(68例)、クワズール・ナタール州(14例)、ムプマランガ州(10例)、北ケープ州(2例)、ノースウェスト・プロヴィンス州(1例)、西ケープ州(6例)およびリンポポ州(1例)。

### **ティザー病**

#### **アメリカ**

\*ケンタッキー州において4例の *C.piliforme* による感染が確認され、メリーランド州でさらに1件の追加発生があった。